

新年度のまちづくりを問う！  
**会派で行う集中質問**

(会派質問 通告一覧表)



平成29年3月定例会

周南市議会

# 平成29年第1回周南市議会定例会

## 会派質問通告一覧表

### ★2月28日（火）

- 1 アクティブ（160分） ..... 1  
（清水芳将、岩田淳司、井本義朗、土屋晴巳、山本真吾）
- 2 公明党（130分） ..... 1  
（金井光男、相本政利、遠藤伸一、金子優子）

### ★3月1日（水）

- 3 新誠会（130分） ..... 2  
（田村勇一、坂本心次、兼重 元、米沢痴達）
- 4 刷新クラブ（130分） ..... 3  
（小林雄二、田村隆嘉、田中和末、得重謙二）
- 5 参輝会（100分） ..... 3  
（青木義雄、福田文治、長嶺敏昭）

### ★3月2日（木）

- 6 嚙矢会（100分） ..... 5  
（古谷幸男、尾崎隆則、友田秀明）
- 7 静林会（100分） ..... 5  
（福田健吾、佐々木照彦、藤井康弘）
- 8 日本共産党（70分） ..... 6  
（魚永智行、中村富美子）
- 9 福田吏江子（40分） ..... 7
- 10 島津幸男（40分） ..... 7

---

## 1 アクティブ

### 1 施政方針に対する質疑

### 2 新年度予算に対する質疑

### 3 一般質問

#### 1 周南緑地基本計画について

(1) 施設整備や改修のスケジュールは。

(2) 周南市体育協会から提出された2度目の施設改修等要望書について、以下を問う。

ア 要望の詳細は。

イ 要望の各項目を責任持って実現させていくための協議の場を早急に持つべきではないか。

ウ 1度目の要望を5年間放置してしまった反省を生かし、確実に文書での回答をすべきではないか。

(3) 整備方針や市の考える整備順序等まで記載した、周南緑地基本計画改定版の策定が必要ではないか。

---

## 2 公明党

### 1 施政方針に対する質疑

### 2 新年度予算に対する質疑

### 3 一般質問

#### 1 自然災害に対する備えについて

(1) 平成28年12月に策定された周南市業務継続計画について以下を問う。

ア 策定の目的は。

イ 地域防災計画との関係は。

ウ 主な計画内容及び計画に対する評価（満足度）は。

エ 職場での備えや職員への周知が重要と考えるが、現在の状況及び今後の計画は。

オ 市民に対して計画公表の予定はないか。

(2) 周南市自主防災組織活動の取り組み差について以下を問う。

ア 地域ごとの自主防災組織活動の現状を把握しているか。

イ 地域活動の取り組み差への対応は。

#### 2 保育士の確保について

(1) 保育士確保に向けた本市の取り組みについて以下を問う。

ア 全国で保育士不足と言われているが、市の現状は。

イ 将来的な保育施設及び職員数の見通しは。

ウ 国の保育士処遇改善に対する市の取り組みは。

エ 保育士トライアル制度を創設した目的及び利用状況は。

オ 保育士就職フェアとはどういったものか。

#### 3 野犬対策について

(1) 現在までの取り組みと成果について問う。

(2) 今後の新たな取り組みや対策について問う。

---

### 3 新誠会

#### 1 施政方針に対する質疑

#### 2 新年度予算に対する質疑

#### 3 一般質問

##### 1 徳山下松港港湾整備事業について

- (1) 徳山下松港港湾計画は、平成26年3月に改訂されたが、主な改訂内容について問う。
- (2) 平成28年4月に国の直轄事業として採択された港湾整備事業のうち、徳山地区と新南陽地区の事業内容を問う。
- (3) T10埋め立て後の活用を問う。

##### 2 愛称「しゅうニャン市」について

- (1) 周南市の周南の由来について問う。
- (2) どういう経緯で愛称「しゅうニャン市」を決定したのか。歴史と伝統と文化の薫る町にふさわしい愛称か。市民の反応はどうか。
- (3) 愛称「しゅうニャン市」を宣言するのなら、動物愛護条例を制定すべきではないか。
- (4) 周南市の認知度向上のためには、公共施設や公共的施設に現前として残っている徳山の名称は周南に改名すべきではないか。  
ア 徳山動物園、徳山競艇、徳山保健センター、徳山海上保安部、ハローワーク徳山、徳山税務署、徳山駅、徳山東西インターチェンジ等はどうか。

##### 3 児玉源太郎に関する調査研究について

- (1) 本市にとって歴史的にも偉大な先人である。調査研究をし、市内外にその功績を広めるべきではないか。
- (2) 功績を後世に引き継ぐためにも、積極的な取り組みが必要と考えるがどうか。

##### 4 三田川交差点の拡幅工事について

- (1) 本工事に関する情報発信を積極的に行うべきではないか。
- (2) 本市の市木であるクスノキが伐採されたが、その有効活用は考えられなかったのか。
- (3) 住民への説明責任は果たされているのか。

##### 5 スポーツ少年団で使用する学校施設の電気代減額について

- (1) 本市のスポーツ少年団員は、県内でもトップクラスにある。青少年健全育成にも大きく貢献している現状を踏まえ、活動施設である体育館使用時の電気代を減額できないか。

##### 6 ぬくもりのある地域のにぎわい創出について

- (1) 中心市街地のにぎわい創出の取り組み予定は。
- (2) その進め方は。

---

## 4 刷新クラブ

- 1 施政方針に対する質疑
- 2 新年度予算に対する質疑
- 3 一般質問

- 1 高齢者や障害者に優しいまちづくりについて

- (1) 市長は平成27年度施政方針において「障害を理由とする差別を解消し、全ての人が互いに尊重し合える社会の実現を目的とする「障害者差別解消法」が平成28年4月に施行されることを受け、障害のある方への配慮などに関する要領を策定し、ハード、ソフト両面のバリアフリー化と差別の解消に取り組む」としているが、取り組み状況はどうか。
- (2) 周南市移動等バリアフリー基本構想において、市内全域のバリアフリーを目指すところだが、徳山駅周辺以外の地区の整備はどのように考えているのか。
- (3) 公共施設におけるバリアフリー化の進捗状況は。
- (4) 点字ブロック、音響式信号機の整備、導入状況は。

- 2 ひきこもり支援と不登校児の支援について

- (1) 内閣府が平成28年9月に公表した「若者の生活に関する調査報告書」で、6カ月以上にわたって仕事や学校に行かず自宅にいる15歳から39歳までのひきこもりの人数が、全国で推計54万1,000人と発表した。本市の現状と支援策について以下を問う。
  - ア 本市のひきこもりの実態は。
  - イ 本市の不登校児の実態は。
  - ウ しゅうなん若者サポートステーションの周知活動と実績は。
  - エ 本市におけるひきこもり地域支援センターの活動実態は。
  - オ 社会復帰に向けた本市独自の支援策は。

---

## 5 参輝会

- 1 施政方針に対する質疑
- 2 新年度予算に対する質疑
- 3 一般質問

- 1 空き家対策について

- (1) 市が把握している空き家の数及び推移は。
- (2) 平成25年に周南市空き家等の適正管理に関する条例が制定され、その後平成28年に周南市空家等の適切な管理に関する条例と一部改正されたが、制定後どのような取り組みをしてきたか。

- 2 使用されていない箱物施設の有効活用について

- (1) 現時点で使用されていない施設の数。
- (2) 今後、公共施設再配置計画の進展に伴い、不要となる公の施設がふえると予測される。これを負の財産とすることなく、市民のために売却を含み有効活用すべきと思うがいかに

がか。

### 3 子育て支援センター「わかやますくすくセンター」について

- (1) 利用状況は。
- (2) 平成29年4月から若山保育園が民営化されるが、「わかやますくすくセンター」はどういった管理体制になるのか。

### 4 周南市の歴史について

- (1) 市長に周南市の歴史観を問う。
- (2) 周南市歴史博士検定の意義と成果は。
- (3) 平成30年は明治維新150年という節目となるが、市として何か取り組みを考えているか。
- (4) 児玉源太郎を主人公にしたNHK大河ドラマを実現するために、市としてアクションを起こす考えはないか。
- (5) 昨年12月18日から今年1月15日まで中央図書館で、昨年のNHK大河ドラマ「真田丸」の主人公真田幸村の息子と言われている「真田幸晴展」が開かれ、市外・県外からも多数の来場があった。改めて真田ファンが多いことを実感した。そこで、その墓と六文銭の入った台座がある久米の原江寺に案内板を設置してはどうか。

### 5 JR櫛ヶ浜駅について

- (1) JR櫛ヶ浜駅の既存のプラットホームや路線を利活用して、(仮称)久米原江寺口を設けて、利便性の向上を図ることができないか。さまざまな相乗効果も期待でき、検討に値すると思うが、いかがか。
- (2) 将来的に地域運営型ローカルステーションとし、駅舎を地元管理しながら、居場所づくりや触れ合い交流の場とする。また、一部を真田ゆかりのよろいかぶとを展示する「真田幸晴資料館」とすることで、原江寺との一体感のある観光施設として全国発信することが可能となる。検討に値すると思うが、いかがか。

### 6 教育行政について

- (1) 本市の小中学生の学力の推移と現状を問う。
- (2) ICT教育はどのような現状か。
- (3) 姿勢矯正教習具「ぐっポス」を導入してはどうか。勉強の姿勢や習慣が確立する低学年時には効果があると考えますが、いかがか。

### 7 地域づくりについて

- (1) 公民館の今後の方向性として、従来の社会教育活動を包含しつつ、行政とともに地域がより主体的にきずなを深める活動拠点となるため「(仮称)地域もやいセンター」として進化させてはどうか。

---

## 6 嚙矢会

### 1 施政方針に対する質疑

### 2 新年度予算に対する質疑

### 3 一般質問

- 1 (仮称)西部地区学校給食センター整備運営について
  - (1) (仮称)西部地区学校給食センターへのPFI方式導入は、いつから計画に取り組んだのか。
    - ア アドバイザリー業務委託は契約したのか。
    - イ 直営方式に比べ、設計、建設、運営を含め、17年間で約2億8,000万円の削減が考えられると試算されているが、誰が試算したのか。
    - ウ PFI方式のメリット・デメリットは把握しているのか。
- 2 古川跨線橋について
  - (1) 跨線橋かけかえを発表し、昨年6月に近隣自治会への説明会を実施して以降、全く進捗状況が見えてこないが、どのようになっているのか。
- 3 周南市の知名度アップについて
  - (1) シティプロモーションの説明では、周南市の知名度が余りにも低いため、知名度アップのために「しゅうニャン市」を進めていくとのことだが、ほかに知名度アップにつながるものはないのか。
- 4 周南市防災情報収集伝達システム防災行政無線及び無線LAN整備について
  - (1) 設計の問題で工事が中断されている。平成22年12月24日に設置された防災行政無線施設整備に関する調査特別委員会(平成23年1月17日、地方自治法第100条調査権付与)が取り組んだ周南市議会としての意思・決議はどう生かされているのか。また、市長はどのように捉えているのか。政治姿勢を問う。

---

## 7 静林会

### 1 施政方針に対する質疑

### 2 新年度予算に対する質疑

### 3 一般質問

- 1 「しゅうニャン市」について
  - (1) シティプロモーション推進事業としての「しゅうニャン市プロジェクト」について、以下を問う。
    - ア 当該プロジェクトの趣旨
    - イ 具体的な事業内容
    - ウ 期待できる事業効果
    - エ 現時点での手応え
  - (2) 人と猫がともに暮らせる町としての「しゅうニャン市」について、以下を問う。

ア 「しゅうニャン市」は周南市の愛称であって、猫に優しい町ということではなく、人が猫のように自由にのびのびと居心地よく暮らせる町を意味するとされているが、一般的にはどうしても猫に優しい町というような意味で受けとめられる。また、実際に多くの猫が自由にのびのびと居心地よく暮らしていなければ、このプロジェクトの基本的概念の定義自体が成り立たなくなる。そこで問題となるのは、過酷な環境にある大多数の野良猫である。やはり、しゅうニャン市と名乗る以上、何にもないというわけにはいかず、せめて次に掲げるような県内他市並みか、できれば他市以上の具体的な野良猫対策を実施して、人と猫が「共に」暮らせる町も標榜すべきと考えるがどうか。

(ア) 「ワンワン銀行」を「ワンニャン銀行」にして、子犬の譲渡会にあわせて子猫の譲渡会を行ってはどうか。

(イ) 野良猫の不妊・去勢手術費の助成制度を設けてはどうか。

## 2 買い物弱者対策について

(1) 中心市街地の丸和跡地の店舗の状況はどうか。現状をどう認識しているか。

(2) 平成28年6月定例会で、市長は買い物弱者に対してもしっかりと対応していくと述べたが、その後の市の対応はどうか。

(3) 各地域の状況把握と切迫度をどう考えているのか。各地域の声の吸い上げ方もあわせて問う。

---

## 8 日本共産党

### 1 施政方針に対する質疑

### 2 新年度予算に対する質疑

### 3 一般質問

#### 1 就学援助制度の改善について

(1) 政府の新年度予算案で、要保護世帯の入学準備費用の国の補助単価が2倍に引き上げられた。準要保護世帯にも適用すべきではないか。

(2) 入学準備金の支給時期を早めることはできないか。

#### 2 市道瀬ノ上津木線の安全性について

(1) 常盤橋から長田町に通じる市道の一部が落ち込んでいる。護岸のクラックに関係があるのではないかと、利用者の不安の声がある。早急な調査を行い、改善を求める。

#### 3 「しゅうニャン市プロジェクト」について

(1) 税金を使ってやるべきことではないと考えるがどうか。

(2) 新年度以降も「しゅうニャン市」でいくのなら市費は使わず、市民有志にボランティアでやっていただいたらどうか。

#### 4 三田川交差点の立体化事業と都市計画道路の整備について

(1) 一般国道2号周南立体事業の全体計画と進捗状況はどうか。

(2) 左折レーンの設置などで渋滞緩和ができるのであれば、立体化はしなくてもよいのではないか。

- (3) 沿線住民や商業者の反対や心配の声にどう応えてきているのか。
- (4) 三田川交差点が立体化されれば、都市計画道路、徳山停車場線、慶万浦山線、泉原合田藪線の完成が求められると考えるが、その見通しはどうか。

---

## 9 福田吏江子

### 1 施政方針に対する質疑

### 2 一般質問

#### 1 下水道事業における新技術の導入について

- (1) 徳山中央浄化センターの膜分離活性汚泥法（MBR法）導入について、以下を問う。
  - ア MBR法の導入は、下水道事業にどのような変化をもたらすのか。
  - イ 再生水利用は考えられるか。
- (2) 現在、国土交通省では、民間事業者や高等教育機関と連携して、下水道資源から水素等を製造する新技術の調査・開発の取り組みがなされている。このことから、以下を問う。
  - ア 本市では、水素先進都市「周南」に向けた取り組みがなされている。この新技術の研究開発に積極的に参加することはできないか。
  - イ この新技術は、水素だけでなく酸素や電気の発生にもつながることから、これを生かせば下水処理コストの縮減にもつなげることができると考えるがどうか。

---

## 10 島津幸男

### 1 施政方針に対する質疑

### 2 新年度予算に対する質疑

### 3 一般質問

#### 1 「しゅうニャン市」への提言について

- (1) 昨年のエープリルフールから、冗談（フール）ではなく「しゅうニャン市プロジェクト」が始まった。そこで、以下を問う。
  - ア プロジェクトの実施体制、施策内容、予算額は。また、その反響は。
  - イ 野犬対策とその実態及び成果は。
  - ウ 殺処分ゼロの取り組みは考えられないか。
  - エ 動物愛護日本一を目指し、ふるさと納税への活用は可能か。

#### 2 市民ホールの整備について

- (1) 市民館存続を求める約14,000名の署名に対して、市長は「ホテルもある」と公言し、「新庁舎建設のための資材置き場に必要」として、市民館を解体した。しかし、そのホテルの撤退が現実に起きた。そこで、以下を問う。
  - ア 市民館解体とホテル撤退による、市民活動への影響は。
  - イ 商工会議所が、コンベンション推進の検討会を立ち上げたと聞いているが、市の連携は。